

■令和2年度の主な事業

分野	事業名	金額 (単位:万円)	事業内容
市内	道の駅「石鳥谷」施設再編事業	2億6,492 (2億291)	道の駅「石鳥谷」の魅力や利便性の向上を図るため、南部杜氏伝承館を曳家により移設したほか、りんどう亭大食堂の内装などの改修を進めました。
	産業団地整備事業	4億7,529 (1億7,575)	二枚橋地区への産業用地整備を完了しました。さらに、花南地区への産業団地整備の基本計画の策定などを行いました。
市内	道の駅整備事業	2億3,132	道の駅を核とした地域の連携強化を図り、道路利用者に安全で快適な交通環境を提供するため、道の駅「はなまき西南」の施設整備を進め、完了しました。
	花巻スマートインターチェンジ整備事業	3,689	高速道路の利便性を向上させるため、東北縦貫自動車道花巻パーキングエリアへのスマートインターチェンジ整備として、埋蔵文化財試掘調査範囲の測量を実施しました。
	障がい者地域生活支援拠点等整備事業	3,758	障がい者が地域で安心して生活できるよう、地域生活拠点などの体制整備を行いました。
市内	放課後児童支援事業	2億9,906	学童クラブの運営に加え、待機児童の解消を図るため、宮野目学童クラブの増築整備やわかば学童クラブ新築整備の実施設計を行いました。
	大迫中学校校舎改築事業	6,112	グラウンド整備により校舎改築事業が完了しました。
地域	定住促進事業	5,317	市内への移住・定住を促進するため、親世帯との同居・近居、または生活サービス拠点に住宅を取得した子育て世帯に奨励金を交付。さらに、市外から移住した子育て世帯などに対し住宅取得費用などの支援を行いました。

※金額のうちカッコ書きの数値は、前年度予算から繰り越された事業の決算額です

では、146億3090万円(29.5%)増加しました。歳出を性質別で前年度と比較すると、義務的経費は、児童保育委託料や子育て世帯臨時特別給付金などによる扶助費の増加に伴い5億2674万円(2.4%)増加。投資的経費は、総合花巻病院移転整備支援事業や東和コミュニティセンター整備事業の完了などに伴う普通建設事業費の減少により、7億3092万円(10.1%)

減少しました。その他の経費は、まちづくり基金などの積立金の増加や、特別定額給付金給付に伴う補助費等の大幅な増加などにより、146億6549万円(77.5%)増加しました。歳出全体では、144億6131万円(30.0%)増加しました。今後も、事業の優先度・緊急度を見極め、限られた財源を効果的に活用しながら、戦略的・重点的な施策展開を図ります。



本市の令和2年度の決算が9月定例議会で認定されました。昨年度はどれくらい収入があり、どのような目的に使われたのか、決算の概要と財政状況をお知らせします。

一般会計

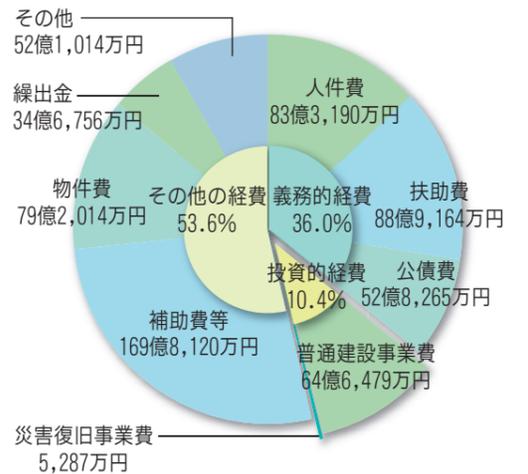
令和2年度に一般会計に入ったお金(歳入)は641億9167万円。この中から使ったお金(歳出)は626億289万円、差し引いた形式収支額は15億8878万円の黒字になりました。翌年度に繰り越すお金は3億6879万円で、それを差し引いた実質収支額は12億1999万円の黒字になりました。歳入を前年度と比較すると、自主財源の代表的なものである市税は1524万円(0.1%)増加。自主財源全体では、寄附金や財産収入の増加などにより27億5914万円(16.2%)増加しました。依存財源では、新型コロナウイルス感染症対策などの国庫支出金が115億6763万円(19.0.2%)増加し、歳入全体

歳出 626億289万円

【歳出決算額内訳】		(単位:万円)			
項目	2年度	構成比	増減額	増減率	
義務的経費	人件費	83億3,190	13.3%	6,088	0.7%
	扶助費	88億9,164	14.2%	4億6,522	5.5%
	公債費	52億8,265	8.5%	64	0.0%
	元金	50億5,056	8.1%	3,598	0.7%
	利子	2億3,209	0.4%	△3,534	△13.2%
	小計	225億619	36.0%	5億2,674	2.4%
投資的経費	普通建設事業費	64億6,479	10.3%	△7億8,330	△10.8%
	災害復旧事業費	5,287	0.1%	5,238	10581.2%
小計	65億1,766	10.4%	△7億3,092	△10.1%	
その他の経費	補助費等	169億8,120	27.1%	111億7,210	192.3%
	物件費	79億2,014	12.7%	11億7,788	17.5%
	繰入金	34億6,756	5.5%	△1億2,094	△3.4%
	積立金	25億456	4.0%	17億5,906	236.0%
	維持補修費	14億2,884	2.3%	6億419	73.3%
	投資及び出資貸付金	12億7,674	2.0%	7,320	6.1%
小計	335億7,904	53.6%	146億6,549	77.5%	
合計	626億289	100.0%	144億6,131	30.0%	

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります

※性質別歳出 歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は、農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は、人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。

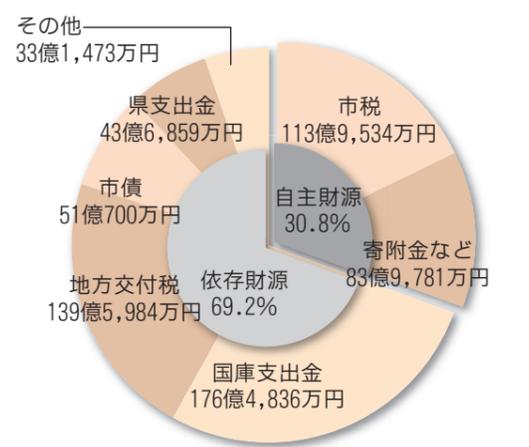


用語解説(歳出関係) ▶義務的経費/人件費など、支出することが制度的に義務付けられている経費▶投資的経費/道路や学校など、将来的に残るものに対する経費▶扶助費/社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費▶公債費/過去に借りたお金を返すための経費▶補助費等/事務組合や各種公益団体に対する補助金などの経費▶物件費/施設の光熱水費や各種委託料などの経費▶繰入金/一般会計から特別会計へ支出する経費

歳入 641億9,167万円

【歳入決算額内訳】		(単位:万円)			
項目	2年度	構成比	増減額	増減率	
自主財源	市税	113億9,534	17.8%	1,524	0.1%
	寄附金	29億7,322	4.6%	23億4,234	371.3%
	繰入金	14億2,746	2.2%	△2億2,125	△13.4%
	繰越金	14億1,919	2.2%	7,608	5.7%
	諸収入	9億1,164	1.4%	1,740	1.9%
	分担金及び負担金	6億6,201	1.0%	2億6,566	67.0%
	使用料及び手数料	5億7,221	0.9%	△1億227	△15.2%
	財産収入	4億3,208	0.7%	3億6,594	553.3%
	小計	197億9,315	30.8%	27億5,914	16.2%
	依存財源	国庫支出金	176億4,836	27.5%	115億6,763
地方交付税		139億5,984	21.8%	1億8,820	1.4%
市債		51億700	8.0%	△10億6,550	△17.3%
県支出金		43億6,859	6.8%	6億9,214	18.8%
地方消費税交付金		21億9,123	3.4%	5億8,042	36.0%
地方譲与税		8億6,136	1.3%	△560	△0.6%
地方特例交付金		9,422	0.2%	△1億23	△51.5%
法人事業税交付金		5,100	0.1%	5,100	皆増
環境性能割交付金		3,985	0.1%	2,157	118.0%
株式等譲渡所得割交付金		2,270	0.0%	1,375	153.8%
配当割交付金	1,949	0.0%	△91	△4.4%	
交通安全対策特別交付金	1,506	0.0%	165	12.2%	
ゴルフ場利用税交付金	1,265	0.0%	95	8.1%	
利子割交付金	717	0.0%	107	17.5%	
自動車取得税交付金	0	0.0%	△7,438	皆減	
小計	443億9,852	69.2%	118億7,176	36.5%	
合計	641億9,167	100.0%	146億3,090	29.5%	

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致しない場合があります



用語解説(歳入関係) ▶自主財源・依存財源/市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」。▶地方交付税/市の行政需要と財力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金/事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債/事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金